

No. 113 2024. 12. 1

〒421-0522
 静岡県牧之原市相良 240-1
 (児童発達支援・放課後等
 デイサービス)
 つくしの家
 (生活介護事業所)
 つくしホーム
 ☎ 0548-52-2225
 事務局 52-0825
 F A X 52-1156
 e-mail:tsukushihome@
 aioros.ocn.ne.jp

つくしの家だより

HP アドレス <http://ichiyokai.sakura.ne.jp/>

王さまのごめいれい...

栗林 均

早いもので、今年もあと一ヶ月と
 になりました。街のあちこちにイルミ
 ネーションがともしはじめ、ホール
 の中からは、子ども達の歌うクリス
 マスの歌や鈴の音が聞こえてきまし
 た。子ども達と季節を歩いてきた道
 々、見せてくれる表情や思いに触れ
 ながら、喜んだり、時にはどうして
 いいのか迷ったり、そんな中で出
 会った言葉があります。そのいくつ
 かを紹介させていただきます。

—ものからことへ—

以前、ある講演会で出会った言葉
 です。今は、ものが豊かになり、欲
 しいものは何でもすぐに簡単に手に
 入ります。人は、「もの」では喜べ
 なくなってきました。大切なのは
 『ものよりことです。』そんなお話
 でした。「こと」とは、どんなこと



でしょう。居酒屋さんを展開されて
 いるその方はこんなお話をされてま
 した。「お箸が床に落ちた時に、お客
 さんから「替えて下さい」と言われ
 てからするのは作業、その前に気付
 いて、言われる前にお箸をお持ちす
 るのが仕事です。お客様は食べに、
 飲みに来ていらっしゃるんだ、人に
 会いに来て下さっているんだ」と。
 だから、雨が降っているのに外まで
 見送ってくれた「こと」、二回目な
 のに名前を覚えていてくれた「こと」、
 お店でお誕生日のお祝いをしてくれ
 た「こと」：そんなひとつひとつの
 「こと」を大切にしていきたい」と。

「どうやってお客様に来てもらうか
 ではなくて、どう帰ってもらうかが
 大切です」お話を伺いながら、ふつ
 と、つくしの一日の終わりの風景が
 浮かんできました。子ども達、そし
 てお迎えに来て下さったご家
 族の皆さんの車が表の道を左
 右に曲がって家路に着く一日
 の終わり：繰り返し返されてきた
 一日一日、どんな「こと」を
 おみやげにできたでしょうか、
 ふとそんなことを思いました。

—助走の原理—

以前、ある研修会で『助走
 の原理』という言葉に出会
 いました。目の前に急な坂道が
 あって、そこを上ろうとする

時、坂道の真下でいくらアクセルを
 踏んでも上れません。そんな時は
 いったん戻って助走をつけて来ると楽
 に上れます。子ども達との関わりで
 も、行き詰まっている時、そのと
 ころでいくら訓練をしても成功しな
 いし、生活は広がって行きません。
 少し戻って基本的な感覚的なこと、
 例えば人間関係でいうと、抱っこし
 たりおんぶしたりするような肌が触
 れ合うことや運動的なことを十分す
 ることによって感覚と運動の経験が
 結びついていって、そこからもう一
 度再出発してみると乗り越えられる
 んです。そんな言葉を思い出しま
 した。

—お湯が沸くまで—
 今までできていたことができなく
 なってしまった時、ちよつとつまず
 いてしまったりした時、その「あら
 われ」ばかりに目がいつてしまつて、
 「どうして？」とか「困ったなあ」
 とつい焦ってしまうことも多いので
 すが、そんな時は少し戻って一緒に
 やり直してみる勇氣と、「大丈夫、
 大丈夫」と頑張っている子ども達を
 ゆったり応援できるような心の目を
 持つてくれたらいいなあと思いまし
 た。

—お湯が沸くまで—

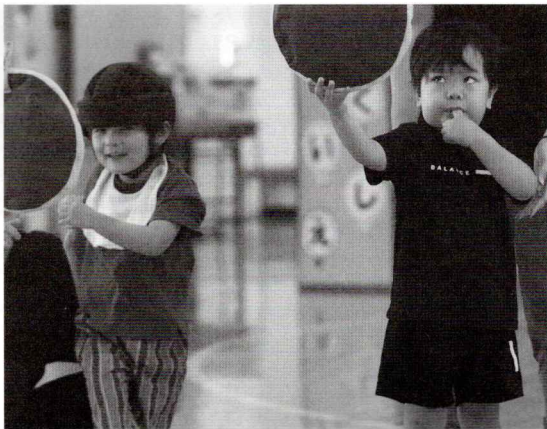
以前『家族の絆』というテーマ
 で、ある先生のお話を伺ったことを
 思い出しました。そのお話の中で
 「ちよつとしんどいけど」というこ
 とで、二つお話がありました。一つ
 は、しつけといわれるもの。例え
 ばご飯やおやつのお母さんが
 「さあ、おあがり」というまで待て

るということは、子どもの心の中に「ちよつとしんどいけど」お母さんが言うから「まんしようか」とか「お母さんがいるから」やってみようか」という関係の中で作られて行くということ。二つめは、いくら訓練してもなかなか結果が見えない「しんどい時期」が子育ての中には必ずある。でも逆に昨日まではできなかったことが今日急にできるようになったように感じることもある。先生のお話の中で、お湯が沸騰する例で説明されていました。どのくらいお湯が沸いたのか、お湯の温度は目で見てわかりません。湯気が出たり、なべのふたがカタカタするのを見て気づくのですが、そのためには、なべの下にはずつと火がつき続けていたことを忘れてはいけません。今日、初めて水道で手がゴシゴシ洗えるようになったよ、ということも「ちよつとしんどいけど」毎日見切りをつけないでやったらからこそできるようなったんですよ」と。そんなお話を思い出しました。先生の「ちよつとしんどいけど」という言葉を思い出してふつと心が軽くなったような気がしました。

—おなまえいっばい—

以前、親子でのごま教室に見学にお越しの方、帰りにこんなことをおっしゃいました。「ここでは、子ども達の名前をいっばい呼ぶんですね」：確かに集まりの時、活動の間、お歌の時間、一人ひとりの名前を呼ぶ場面がたくさんあります。子ども達一人ひとりの一瞬の表情や姿

をみんなで一緒に応援できたら楽しいですよ。——以前、市の乳幼児健診後の療育教室「わかめサークル」に初めて来て下さったお母さんのことばを思い出しました。そのお母さんはお子さんが少しでも他のお友達と遊べるようになってほしいと、それまで何度も児童館などに出かけましたが、いつも輪に入れず隅の方で一人遊んでいたとのことでした。わかめサークルを紹介されて、初めて参加したその日、活動が終わった時にお母さんが「うちの子の名前をたくさん呼んでもらえて：うれいす」と、涙を浮かべながら話されました。



—王さまのごめいれい—

ノートルダム清心学園理事長をされていた渡辺和子さんの書かれた本の中にこんな文章がありました。「ある小学校の六年になる女子の一人が、次のような詩を書いていきます。

「王さまのごめいれい」
 といって、バケツの中へ手を入れる
 「王さまつて、だれ？」

「私の心のこと」
 おそらく、寒い朝、ぞうきんをゆすいでいるのでしょう。冷たい水の入ったバケツに手を入れ、しばらくなるといけないう時の心の動きが、この詩に表現されています。「いやだなあ」という気持ち、「でも、しないといけない。王さまのご命令だから」という、自分自身との会話。実は、私たち一人ひとりの心の中にも、この「王さま」は住んでおられるのです。ためらっている私たちに、悪いことを「しなさいよ」とすすめ、悪いことを「してはいけません」と制止してくださるのです。神の呼びかけは、かくて、電車の中で、高齢の方に席を譲ろうか、譲るまいか、嘘をつこうか、つくまいか、こぼした水を拭こうか、そのままにしておこうかと、ためらっている私たちに、どうしたらよいかを囁いてくださっています。この「王さまのご命令」に耳を傾け、従って生きてゆきたいものです。……こんな文章でした。河野進さんの詩を紹介させていただきます。

悠々

川よ ひどく急いでいるな
 後から追いたてるんだ
 今日 ひとくゆつくりしているな
 前がさっぱり動かないんだ
 争って先がけするより
 途中もみんなと仲よく行きたい

どうせ海に落ちつくのだ
 あくせくせず 悠々と参ろう



私達は一人で生きていく訳ではありません。まわりの人や物や「こと」の中で生きています。考えてみるとその中でいろいろなるルールが生まれたり、相手の気持ちを考えたり、やらなければならないこと、やっつけなければならないこと、が私達のまわりにはたくさんあるように思います。そんな時、子ども達は、心の中から聞こえてくる「王さまのご命令」と戦ったり、格闘したり、時には悩みながら毎日を過ごしているのかも知れないなあって思いました。

これからたくさんのお出逢いの中で大きくなっていく子ども達、みんなの心の中にすてきな王さまがたくさん住んでくれるといいな。ホルの中の子ども達を見ながら、ふとそんなことを思いました。今年もあたたかなクリスマスが迎えられますように。

(一羊会理事長・つくしの家園長)

医療とのつながり

増田 隆

日中は穏やかでも、午後になると強い北風がお日様を押し流すかのようには吹いてきます。陽が落ちる時間が、日を追うごとに短くなってきました。

今月は、クリスマス、年末年始とあわただしさも増してきますね。つくしホームでは、今年お世話になった方々へ感謝を込めて手作りカレンダーを作っています。この光景を見ると年の暮れを実感します。

この時期になると、数年前のある出来事を思い出します。いつものようにお昼ご飯の時間を迎えた時の事です。つくしホームでは食事の当番



さんがいて、「いただきます」と声をかけ、みんなが続いて「いただきます」と言い、揃って食事が始まります。美樹さんも椅子に座って待っており、その隣に私が座り、当番さんのあいさつを待っていました。美樹さんはサインや単語を使ってコミュニケーションをとることが多く、つながりのある言葉はあまりありませんでした。いつものように当番さんが声をかけ、みんなが続いて挨拶をしている時、普段聞き覚えのない声が聞こえました。私を含め周囲の何人かの利用者さん、職員が「えっ、今の声は誰？」とあたりを見回しました。するともう一度、小さい声ではありますがはつきりと「イ・タ・ダ・キ・マ・ス」と美樹さんが自分で続けて言ったのです。それまで一度も耳にしたことのない言葉でした。みんな嬉しくて拍手喝采、「もう一度聞かせて」と美樹さんに頼み、二回も聞かせてもらいました。家では言っているのかなと思ひ、お母さんに尋ねてみましたが、お母さんも聞いたことがない、と言いました。この日に突然言葉が出たのではなく、これまでの数十年間、ずっと言葉が溜まり続けていて、それが何かのきっかけで溢れたのでしょうか。一足早い、クリスマスプレゼントでした。七月には新型コロナウイルスが流行してしまい、休園日もありましたが、

その後は毎日開園できています。つくしホームでは、感染症への不安だけでなく、いろいろな健康相談が寄せられますが、特に多いのは歯科治療に関する悩みや相談です。そのよな中で、数年前に榛原歯科医師会主催で行われた「第二回 歯医者さんと話そう」の会に参加させていただきました。最初にこども病院的な歯科衛生士さんが、歯磨きについての基本的なお話や磨き方、そして病気に付いて、写真や表を使いながら分かりやすく丁寧に教えてくれました。口の中のケアを怠ると、免疫能力や自浄作用が低下し、発熱や肺炎などの病気にかかる確率が二倍、あるいはそれ以上になるというデータを見て、改めて歯磨きの大切さを知りました。あらかじめ寄せられたいくつかの質問にも丁寧に答えてくれ、どうしても歯磨きが苦手なら一日一回でもきちんとやれば大丈夫、歯石や歯肉の汚れは歯医者さんでなければとれないので、定期的に歯医者さんで見てもらってくださいね、等いろんな指摘をしてくれました。虫歯になつてから、痛みが強くなってから歯医者さんに行くのではなく、丁寧な歯磨きや定期的なメンテナンスがとにかく大切だということでした。感染症も歯のケアも共通して言えるは、「予防」が大切であるということであると思います。また、幼少時か

ら治療や診察に慣れる事も大事です。ある程度の年齢になってから、我慢できない痛みが生じてからやむなく通院する事は、病院も本人も、ご家族も大きな負担となってしまいます。また、ある利用者さんは、牧之原市で実施している「牧之原市在宅訪問歯科支援事業」という制度を利用して訪問歯科の先生とつながり、今では治療が楽しみになるほどになりました。このように、医療と福祉の連携を深めることは、長年の課題でもあり、必要性も高まっています。県内でも、電子カルテが病院の間で共有できる「ふじのくにネット」や、こども病院で作られたその人が必要な医療・介護情報が一目でわかる「私のケア手帳」等、医療が必要な方々にとつても安心できる環境が少しずつ整ってきました。当事者の方々はもちろん、医療関係者の方々と福祉分野が、お互いに知らない事やわからない事を減らし、理解を深めてゆけば、より安心した毎日を送ることが出来るのではないかと思います。

今年もいろんなことがありますが、みんな年を越せることに感謝し、来年も健康第一で笑顔が絶えない場所になりたいと思います。一年間つくしホームを支えてくださり、ありがとうございます。

(つくしホーム施設長)

「喜怒哀楽」
大石千景

息子の瑞樹は、つくしの家、特別支援学校、つくしホームと通って来ています。成長と共にいろいろと言う事もあれば、想像以上に成長した所も数え切れない程あります。

息子はダウン症と生まれた日に医師から告げられました。私自身、ダウン症という病名すら知りませんでした。その日は泣きはらしましたが、もう二度と泣かないと決めました。息子の成長を見守ろうと思いましたが、幼少期の時はトラブルもありましたが、息子なりに頑張ってくれたと思います。

思春期に入り、自我と共にこだわりの増え、融通が利かない時もありました。

学校生活の時、特に中高年の時は登校するのを嫌がり自傷行為も始まり、高二で中退することになってしまいました。なかなか学校生活に馴染めず、友達に手を出したり、作業も出来ず、ちよつとの事で泣いていたり、先生を困らせていました。言葉もしゃべれず、一番息子が苦しんでいたと思います。そんな時に園長先生にご相談した時、親身になっていただき、本当に助かりました。つくしホームに通うようになってから先生からモップ掛けやごみ捨てな



どやってくれたと聞いた時はびっくりしました。学校の時や家では全くしませんが、ちゃんと外ではやってくれるんだと感激しました。

色々ご迷惑をお掛けする事もありますが、先生方のサポートで息子が楽しく過ごす事が出来、感謝しています。

この先、息子が健康でいてくれたら幸いですが、親子で元気に過ごせられるように親子でダイエットして行きたいと思っています。

(つくしホーム保護者)

「カレーの日」
丸山美智代

こんにちは。初めまして。お久しぶりです。丸山啓佑（おきゆう）の母です。啓佑が卒園して早いもので十五年が経ちました。現在は就労継続支援B型の施設に通って、啓佑に出来る仕事をさせて頂いています。時々シャウトステイも利用し、泊りも経験中。

私も牧之原市内で仕事をしている為、つくしの前を通ったりする事があり、時々思い出しては、「カレー作りに行きたいなあ」と思っていました。そんな時、啓佑より五才先パイの高橋昇平君ママに連絡をして「ねえ、つくしにカレー作りに行かない？」と声をかけると、すぐに「行きたい。行こう！」とお返事頂いて、「〇月〇日にカレー作りに行きたいけどいいですか？」とつくしに電話を入れたのが始まりです。まだまだコロナ禍。ダメかもねと思っ



現できました。久しぶりのカレー作り。在園していた頃は、保護者による「カレーの日」

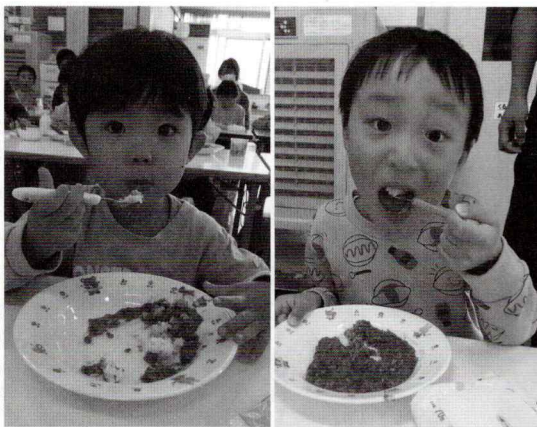
日」が月一回あったので、その順番がいつ来るか負担に感じたりすることもあったな〜と思いをしました。それでも行けば他のお母さん達とおしゃべりしながらの作業は楽しかったです。啓佑がつくしホームさんに移ってからは、先パイママ達のお話が聞けたり、当時は大変だったけど、思い返せば縦にも横にもつながりが持てたと思います。



現在は、だいたい半年に一回くらい昇平君ママと二人で予定を合わせて「カレーの日」をやっています。カレーを作りながら現況報告をしながら、今の悩みを聞いてもらったり聞いたり、「話す」ことで気持ちもすっきりしてリセットできたり。そして嬉しい事に子ども達の笑顔まで見られて、さらに「おいしかった」「おかわり」「ごちそうさま」まで。先生からは「いつもは〇〇しか

食べられない○○ちゃんが、みんなと同じカレーを食べられました」など嬉しい報告まで。そんな機会を作っていただけで感謝です。

先生から「汁ものが苦手なお友達がいるんですよ」という事で、次回とはん汁と何かにしようと計画中です。



まだまだ続く子育てからの介護。時々気持ち話を話せるママとしつかりおしゃべりして、気持ちをしつかりいろんな問題が起こったり、笑っていられる日ばかりはないけれど、楽しく過ごしていきたいです。

「カレーの日」、つくし東館のキッチンからは、ご飯のいいにおいとにぎやかな声がしているとあります。そして、「あー今日はお弁当、お休みて嬉しい」と思っていただけだから幸いです。

(つくしの家 卒園児保護者)

「見るって楽しいね」
魔法使いになれるんだよ
名波ひさみ

♪キラキラひかる♪ ライトくんれんたのしいな♪

ホールから続く十畳ほどのお部屋の中から子ども達の歌が聴こえてきました。何が始まるのか？ちよっと覗いてみましょう。あれあれ、真つ暗？お昼寝から目覚め、午後の活動が始まります。今日は、子ども達の大好きな「ライト訓練」。急いでイスをとりに行き、準備ができるまでお部屋の前に一列に並んで待ちます。「ライト訓練って何？」って皆さん思うでしょうね。元々は、ペンライトを使って瞳孔の収縮を繰り返して、脳に刺激を送る訓練です。つくしでは「見るって楽しいね」という活動にしたいねと、アレンジして園長先生手作りのライトをみんなで一緒に見ます。もう三十年以上続いている活動です。子ども達を魔法使いにしてくれるのは「風船ライト」人さし指を出して「チチンブイブイのエイ！」と呪文を唱えると、あら不思議、ライトが点いて沢山の風船が飛んでいるみたい。ふーって息を吹きかけると、ゆっくり消えていきます。魔法使いになった子ども達の瞳がキラキラ輝きはじめました。子ども達にはそれぞれお気に入りのライトがあります。ほんの少し紹介しますね。ペンギンくんは踊る「ペンギンライト」。左右のペンギンくんが揺れてダンスしているみたい。赤、青、黒のペンギンくん達は階段を昇って滑り台を何度も滑っていきます。追いか

かけっこしているように見えたのでしようか、好きな色のペンギンくんの応援が始まりました。「かえるの合唱ライト」。かえるさん達が曲に合わせて大きな口を開けて歌っています。歌うのが恥ずかしかった子ども達も、いつの間にかライトの横に立って大きな声で歌い出しました。「新幹線ライト」は、子ども達を運転手さんにしてくれます。発車ベルが鳴るとスタートです。レバーを操作して上手に駅に停車する子もいれば、通過して遊園地やトンネルの中で停まってしまうこともあります。今度は駅に上手に停まれるかな、また挑戦しようね。ライトの中には、子ども達が名前を付けたものもあります。光ファイバーがキラキラ輝くのを見て「わあー、まほうの木みたい！」ってつぶやいた女の子がいました。それからこのライトの名前は「魔法の木」になりました。もう高校生になった頃でしょうか。素適な名前をありがとう。触れて楽しむライト、一緒に参加するライト、静かに光を楽しむライト、ブラックライト絵本等々、まだまだ紹介したいライトがいっぱいあります。皆さんもぜひ見に来て下さいね。

♪キラキラひかる♪ ライトくんれんたのしかったね♪

夢の時間が終わったようですよ。「見るって楽しいね」魔法使いになった子ども達が、お部屋を出てホールに戻ってきました。また、新しいライトができるといいですね。みんな、お楽しみに…。

(つくしの家 指導員)

ご挨拶

早いもので、今年もあと一ヶ月を残すのみとなりました。「季節が夏と冬の二つになったみたい」という声が聞こえてくるくらい、春から本当に暑い日が秋の終わり頃まで続きました。そして今年もまた、能登半島や宮崎県日向灘を震源とする地震、台風や洪水など大きな災害が起こりました。まだまだ復旧・復興には時間がかかりそうです。一日も早く落ち着いた生活に戻られますようお祈り申し上げます。

つくしの家の子ども達、つくしホームの利用者のみんなも、コロナ禍から少しずつ取り戻し、形を変えながら始まった日常の行事や活動に組みながら、一日一日の小さな歩みを大切に積み重ねています。寒くなります。後援会の皆様方をはじめ、ここを応援して下さい方には、今後とも変わらぬご支援をお願いするとともに、ご自愛をお祈り申し上げます。

取扱金融機関のご案内	
三菱UFJ銀行静岡支店 普通 4254072	口座名 つくしの家後援会 (以下同じ) 静岡銀行相良支店 普通 145949
島田掛川信用金庫相良支店 (旧島田信用金庫) 普通 134511	
郵便振替 00820-5-57983	口座名 心身障害児通園施設 つくしの家後援会

つばい

◆つくしの家のあゆみ

五月 ◎牧之原市により雨漏りの工事をしていただきました。梅雨時期を前にありがとうございます。

◎民生委員さんとの散歩交流、雨のためホールの中でみんなで運動遊びを楽しみました。みんな笑顔いっぱいでした。

六月 ◎初めての企画「体育館で遊ぼう！」を行いました。B&G体育館をお借りして、今回は講師の先生による親子でレクレーションを楽しみました。◎美容師の加藤さんが六人の子どもの髪をカットして下さいました。◎卒園児の保護者の丸山さんと高橋さんがお昼にカレーを作って下さいました。とっても美味しかったです。

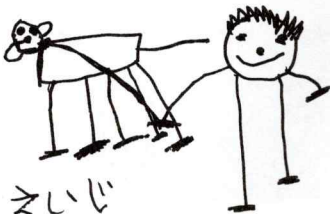
七月 ◎消防署と市の女性消防隊の皆さんを迎えて「花火教室」を行いました。DVDを観た後、実際に花火の持ち方等を教えてもらいました。みんなで消防車の前で記念写真も撮りました。◎榛葉さんからお花、永田さん、森田さん、八木さん、元職員の庄司先生からアルミ缶をいただきました。

八月 ◎つくしホームの役員さんが蚊の駆除をしてくれました。また、かき氷も作ってくれて、おやつの際間においしくいただきました。◎サ

マーシヨートボランティアで御前崎中学校の山崎さんと相良中学校の細田さん、社会体験学習で御前崎小学校の栗林先生が来てくれました。

九月 ◎おたのしみ会。みんなで盆踊りやヨーヨー釣りにゼリーすくい等のゲームを楽しみました。西館はジャングルに変身！みんな大喜びでした。◎希望参観会では、子ども達の活動の様子を沢山のご家族の皆さんに見ていただきました。◎引き渡し訓練。地震発生後に、今回は津波は発生せず、道路も通行可能という想定で「津波避難タワー」へ移動し、お迎えに来てもらいました。◎読み聞かせグループ「グランマさん」が、大型絵本、紙芝居、絵かきうた等をして下さいました。楽しかったです。◎市内のパチンコ店「パオ牧之原店」様よりお菓子を、卒園児の栗桜さんからアルミ缶、法人内の作業所に通う小泉さんから新聞を折って作ったごみ袋をいただきました。また、民生委員の稲本さんが園庭の草刈りをしてくれました。

十月 ◎B&G体育館をお借りして運動会を行いました。相良高校生十人、久保田さん、横山さんがボランティアに来て下さいました。◎県の健康福祉大会で村松ゆり先生が表彰となりました。



まじい

◆つくしホームから

5月 ☆五関めぐみ支援員が復職。月・木曜日に勤務してくれそうです。☆つくしの家と合同で避難タワーへの避難訓練を行いました。

6月 ☆嘱託医の廣瀬先生の巡回相談。☆つくしの家旧保護者の丸山さん・高橋さんがカレーライスを作ってくれました。トマトいっぱいのカレーは食べやすくてとても美味しかったです。☆牧之原市よりホールの水銀灯をLEDランプに交換していただきました。

7月 ☆七夕祭りは短冊に願いを書き、くじ引きで当たった物を飾りました。☆今年も利用者さんと職員で夏祭りをしました。浴衣や法被を着て楽しい時間を過ごしました。

8月 ☆今年の夏はとても暑くて大変でしたが、保護者会の役員さんたちが「かき氷」を作ってくれました。コーラ味のシロップが大人気でした。☆つばいグループが障子紙で風船を作りました。涼しい音色がみんなを癒してくれました。

9月 ☆職員で普通救命講習を受講。☆食事会では出前を注文しました。市内のお店でみんな好きな料理を選んで頼みました。☆せせらぎグループが水遊びを行いました。身体中に水を浴びて歓声が上がりました。

10月 ☆大野真利奈支援員が常勤職員として入職。☆防災公園まで避難訓練。防災用具を積んだりヤカーを

編集後記

今年も残りわずかとなりました。この夏はたとえようがない危険な暑さとなりました。散歩や戸外での活動は制限されましたが、秋になってからはたくさん外に出て、身体をいかしました。元日からの能登半島地震、9月には水害が発生し、かける言葉も見つかりませんが、心安らぐ時が少しでも早く来ることを祈ります。来年は平穏な年となりますように。

引き、みんなで頑張つて坂も登りました。☆利用者さんと職員での運動会。みんなで口ひげを付けてボールを飛ばし、「ひげダンス」を踊る競技をして、2つの体操や踊りを踊り、特製幕ノ内弁当をデリバリー。パンの代わりにお菓子を取る「お菓子取り競争」でおやつをゲット、たくさんの方々の善意やご協力で楽しい運動会となりました。☆お楽しみ会では「秋祭り」をテーマにして屋台を引いてのゲームを行い、おみくじもあつた笑顔いっぱいのお祭りになりました。☆吉田特支高等部2年生1名実習。☆民生委員さんたちが草刈りをして下さいました。☆民生委員さんと散歩交流会。今年度も4回行う事が出来、いずれもお天気に恵まれ、いろんなお話をして楽しい時間を過ごす事ができました。ありがとうございました。